

あるある!こんなときどうするの?

お家にある容器にそのまま入れても、どこかいまいち。いろいろな容器の攻略方法を教えてもらいました。



※花材…アイビー、スイートピー、ハラン、かすみ草 ※容器…フラスコ型花瓶

point 花器の口が狭いと全体的に細長いイメージになりがち。アイビーを加えて動きを出すと雰囲気が変わりますね。枝の向きを安定させるために小物で押さえます。



※花材…アルストロメリア、スターチス、かすみ草 ※容器…コップ

花器の口が広くてまとまらない!

片方に寄せて流れを作る

※花材…スターチス、オリヅルラン ※容器…コップ

point 少ない花で花器の口が広いと寂しい感じになりがちです。花を一方に寄りかけるように入れましょう。今回はオリヅルランで横に流れを出しました。

ふだんの暮らしに お花をプラス

暮らしのお役立ち情報
暮らし @ アットマーク

心に癒しや潤いを与えてくれる花。“花のある暮らし”には憧れるけど、飾り方や手入れが分からずちよっぴり敬遠してしまっている方も多いのでは? 花びんを使わず、身近なものを使ってもセンスよく飾るアイデアを教えてもらいました。



※花材…アルストロメリア、オリヅルラン ※容器…ビンの空きビン

並べて飾ってアート風に

point 同じ花材でも長さを変えて、複数の同じビんに生けて等間隔で並べて飾るとアートな感じに。

生ける前にこのひと手間!

- ✿ 枝が分かれて花がたくさんついているものはカットしてばらします。
- ✿ 余分な葉は取ります。水の量は器の半分の量で充分です! 器いっぱいに入水すると、傷みや早く長持ちしません。

1輪だけよりも2輪あった方がバランスがとりやすいと思います。アイビーやオリヅルランなど動きのある葉を加えるだけでも、見栄えが変わります



教えてくれた人 耕納 博美さん
コープいしかわ教え合い講師
プリザーブドフラワーやハーバリウム、ドライフラワーなどの教室 Yu's Flowers 主宰

お花に関する疑問を解決

Q 花を長持ちさせるには?

A 花の延命剤などの商品もありますが、水を清潔に保つことが大切です。葉や小さいつぼみをほどよく取ります。基本として水に浸かるところは取りましょう。水が汚れる原因になります。また、葉が多いと葉から出ていく水分が増えて早く枯れてしましますが、逆に取り過ぎると光合成ができなくなって枯れてしまうことになるので注意してくださいね。

Q つぼみが咲かないうちに枯れてしまうことがあります。

A 早く咲かせるコツは糖分を与えることです。水1ℓに対して小さじ1の割合で試してみてください。

Q 花束をもらって帰ったら少ししおれていました。この花を復活させるには?

A 少しだけしおれた場合は、濡らした新聞紙に花を包んで茎を切り、水揚げします。ぐったりしてしまったら、思い切ってドライフラワーにして楽しみましょう。

Q アレンジメントフラワーを長持ちさせるには?

A セロファンで包まれている場合は外してください。完全に乾ききる前にオアシス全体に霧吹きで水を与えます。できるだけ葉の部分に水がかかるようにします。枯れそうになっている花はこまめに摘みましょう。

輪ゴム使ってまとまりやすく



※花材…ストック、スターチス、オリヅルラン ※容器…ドレッシングの空きビン

point 生ける前に形を作って輪ゴムで止めてしましましょう。まとめた形もキープできます。

ジャムの空きビンもアイビーをひと巻き



※花材…アルストロメリア、アイビー、かすみ草 ※容器…ジャムの空きビン

point 口の広いジャムのビンには短めに切った複数の花を。大きな花と小花など種類が多いとバランスがよくなります。